

令和 3-5 年度  
厚生労働科学研究費補助金  
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

特定健康診査および特定保健指導における  
問診項目の妥当性検証と新たな問診項目の開発研究

総合研究報告書

分担内容：社会的因子の検討

研究分担者 高橋由光 京都大学大学院医学研究科健康情報学・准教授  
研究協力者 石崎美保 京都大学大学院医学研究科健康情報学・大学院生  
研究協力者 佐藤絢香 京都大学大学院医学研究科健康情報学・大学院生

研究要旨

社会格差、健康格差への着目が高まる中、従来の特定健診質問票では含まれていなかった「社会的因子」について検討を行うため、健康診査や臨床の現場で収集されている健康の社会的、行動的要因の項目について論文検索および記述的レビューを実施した。生活保護受給者に対する生活習慣チェックシートも開発した。レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）において公費単独レセプトの第三者提供が開始され活用が可能となったため、NDB 特別抽出の申出を行い、解析環境を整備した。標準的な質問票の 9「20 歳の時の体重から 10kg 以上増加している」の「解説と留意事項」の作成を行った。

A. 研究目的

貧困、教育、雇用、成育環境などの要因が寿命や疾病頻度と関係していることが多くの研究で報告され、社会経済的地位（Socioeconomic Status, SES）、または健康の社会的決定要因（Social determinants of health (SDOH)）として注目されている。しかし、社会的影響が身体健康と寿命にどのように作用するのか、そのメカニズムは明らかになっていない。一方、貧困、虐待、いじめ、アルコール依存、薬物依存な

ど、不利な SDOH を複合的に抱えている生活保護受給者は、糖尿病、脳血管疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、腎不全等の生活習慣病を比較的若い年齢で罹患し、重症化する傾向があり、当事者にとっては QOL、ADL の低下、国としては医療扶助の増大などが問題となっている。また、現在 200 万人を超える生活保護受給者がいる中、生活保護が廃止となる理由で最も多いのは「死亡」（50.6%）となっている。このことは、不健康な生活習慣が生活保護受

給者の健康アウトカムを悪化させ、生活保護から抜けることなく亡くなっていることを示唆している。社会的に弱い立場にある人々の健康を守ることは、公衆衛生上重要な責務であり、社会因子を考慮した保健政策立案のためにも、SES が低い集団における生活習慣や診療実態の研究が必要である。本分担研究では、以下の3点を目的に研究を実施した。

#### 【研究1】

SES、生活習慣、健康アウトカムの関連に関するエビデンスの収集および生活保護受給者の生活習慣を簡便に把握できるツールを提案する。

#### 【研究2】

生活保護受給者の診療実態を明らかにすることを目的に医療扶助レセプトを含むデータ解析基盤を構築する。

#### 【研究3】

標準的な質問票の9「20歳の時の体重から10kg以上増加している」の「解説と留意事項」を作成する。

### B. 研究方法

#### 【研究1】

生活習慣とSESが低い集団の健康アウトカムの関連を調査するため、PubMedを用いてSES、生活習慣、生活習慣病に関する文献検索を実施し、記述的にレビューを行った。健康の社会的決定要因の質問票・ツールに関する文献も収集した。また、これらのレビューをもとに、生活保護受給者の生活習慣を簡便に把握できるツールを作成した。

#### 【研究2】

NDBにおいて公費単独レセプトの第三者

提供が可能となったため、代表的な生活習慣病である高血圧症・糖尿病・脂質異常症等に関する診療実態、特定健診データを用いた受診状況および健康状態の把握を行える可能性がでてきた。厚生労働省にNDB特別抽出の申出を行った。

#### 【研究3】

PubMedを用いて文献検索を実施し、記述的レビューを行った。質問票項目に沿い、20歳、日本人成人における体重増加、20歳（の時の体重）に関する検索式を組み合わせ検索を行った。

### C. 研究結果

#### 【研究1】

文献検索を通じ、SES、生活習慣、生活習慣病に関する文献の概要、健康の社会的決定要因の質問票・ツールを示した。生活保護受給者の生活習慣を簡便に把握するための「生活保護受給者に対する生活習慣チェックシート」（質問票）を作成した。

#### 【研究2】

2022年4月に厚生労働省に申出、2023年11月にNDBデータを受領した。受領したテキストデータよりPostgreベースのデータベース構築を行った。解析環境の整備が完了した。

#### 【研究3】

体重増加と、メタボリックシンドローム、循環器疾患、糖尿病、慢性腎臓病に関連する文献の概要を記載し、標準的な質問票の9の「解説と留意事項」を作成した。

### D. 考察

SESが健康の社会的決定要因として健康アウトカムに関連している。国民の健康増進

のために、個人の努力だけに依存しない、社会的因子に着目した保健政策の必要性が求められている。一方、健康の社会的決定要因に関する研究に注目が集まる中、現場でどのような情報を収集してよいのか、収集できるのか、何をどこまでやればよいかといった課題もある。特定健診質問票において、社会的因子を追加することには更なる検討が必要である。同時に、既存のレセプトや特定健診のデータを活用し、所得区分、自己負担上限額、レセプト種別、負担者番号（公費負担医療）等の情報を活用し、エビデンスを積み重ねていくことも重要であろう。

#### E．結論

健康の社会的決定要因の質問票は開発されているが、特定健診質問票において、社会的因子を追加することには更なる検討が必要である。国内におけるエビデンスの構築が求められる。

#### F．研究発表

なし

#### G．知的財産権の出願・登録状況

なし